

Special feature

★「そうだ、図書館に行こう」★

—図書館の使い方—

今回は新学期特別版として、図書館の使い方を入館から退館まで簡単にご説明します。
今まで何となく怖くて(?)図書館を利用したことのない先輩の皆さんも参考にしてください。

⚠️ 注意事項



◎入館

①カード読み取り口に学生証を入れて、抜き取る。



②「カチッ」と音がしたらバーを押して入る。



* 学生証を抜き取ってからバーを押してください。

◎閲覧(本を読む)

書架(本棚)から本を取り出して、自由に館内でご覧ください。

* 書架から取り出した本は、利用が終わったら必ず元の場所に戻してください。

◎DVDの視聴

①棚から空ケースを1つだけ取り、学生証と一緒にカウンターへ。



②ソフトと、ヘッドホンなどのセット(写真→)を受け取る。

指定された番号のAVブースでご覧ください。

* 観終わったら、ヘッドホンなどを元の通りカゴに戻して、カウンターにご返却ください。



◎貸出(本を借りる)

1人8冊まで2週間借りられます。
借りたい本を学生証と一緒にカウンターへ持ってきてください。
★手続きをせずに館外に持ち出すことはできません。
★1階の雑誌は貸出できません。

◎返却(本を返す)

貸出手続きを受けた後に返す本は、必ずカウンターに持ってきてください。
★自分で棚に置かないでください。

⚠️ 返却期限を過ぎた場合

★期限を過ぎている本を返すまでは入館できません。
★4日以上遅れると、遅れた日数分だけ貸出禁止になります。

◎返却ポスト

図書館が閉まっていたら、ここに返す本を入れてください。

* 入り口に向かって右側にあります。
* 開館時は入れないでください。



◎検索性パソコン(自由にお使いください)

○1階に4台、2階に2台あります。
○探している本やDVDがあるかどうかなど、自由に検索してください。
○検索の仕方は備え付けのマニュアルを参考にしてください。

◎コピー機(申し込みが必要)

1階の階段下にあります。
①申し込み用紙に必要事項を記入する。
②学生証と申し込み用紙をカウンターに提出する。
③ユーザーコードを入力し、お金を入れて使用する。

★図書館の本以外はコピーできません。

◎退館

出口のゲートは一つだけです。
そのまま押し開けてください。
★アラームが鳴った時は、職員の手指示に従ってください。



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
「図書室」ではなく、「図書館」があることに驚いた人もいるのではないのでしょうか。最初は入りづらいかもしれませんが、まずは気軽に雑誌やDVDでも見に来てくださいね。

ビブリアオテイク

2010年4月1日
発行：神戸芸術工科大学図書館
http://www.lib.kobe-du.ac.jp
Vol.19

—図書館から学生・教員の皆さんへの情報発信—

館長のおすすめ!!

図書館長：小山明教授
(デザイン教育研究センター)



『落穂拾い』 アニエス・ヴァルダ監督・脚本
『Cardboard houses』 宮本隆司著

ミレーの有名な絵画に同名の作品がある。私を含めて多くの人々はこの絵を見て、農家の人々が刈り取りの終わった後の畑で、地面に落ちた残りの稲穂を拾っているのであろうと思っている。しかし、実はそうではなく、フランスでは、大きな農家が自分のところの収穫が終わった後は、だれもがその畑に自由に入って、日の出から日没までの間であれば、落ちていたものを拾って帰ってよい、そういう法的に守られたシステムがある、というところからこのドキュメンタリーフィルムは始まる。

パリの市場で捨てられた野菜を拾う人、大規模農場において機械が選別した規格外ということで廃棄されたジャガイモを拾う人、拾ったもので作品をつくるアーティスト達、町をさまよってゴミ箱をあさりながら、しかし心は気高い放浪者。そこには、さまざまな拾う人々の人生や生き方、考え方が、ソニー製のTRV-900という小型カメラによる彼女のインタビューを通して浮かび上がる。廃品を拾って、オブジェや絵画をつくり続けるあるアーティストは、なぜ拾うのかという問いに

対して、「回収した品のいいのは、過去に生き、すでに命がある。そして生き続けていることだ。あとは第二の命を与えるだけ」と語る。そこには、単に廃棄するのはもったいないからという理由、あるいは大量生産大量消費に対する批判としての「拾う」という視点を越えた、デザイン思想としての重要な考え方を見ることができる。すなわち、デザインとは、新しく作るだけでなく、すでにデザインされたもの、あるいは捨てられたもの、すでにそれがそこにあるものとして、そこから再びデザインという行為が始まる、というもうひとつのデザインの枠組みである。

この映画とできればあわせてご覧いただきたいのが、宮本隆司教授の写真集『Cardboard houses』である。カードボードとはダンボールのこと。つまりここに切り取られた都市の風景は、ホームレスの人々が拾ってきたダンボールを組み合わせて作りだした「ダンボールの家」の風景である。地下街や河川敷の橋の下、あるいは歩道橋の下など、大きな都市構造物の影に、あたかも吹き溜まりのようにひっそりと、ほとんど気づかれずにおかれたこうした家の美しさ。そこに映っているものはすべてがゴミであるはずなのに、私たちが家をつくる、そうした原初の家としての姿や考え方、創意工夫という営為がそこには見出されるのである。

←『Cardboard houses』748||MIY (1F)
→『落穂拾い』A778.235||OCH (1F AV資料 DVD)



information

長期貸出の返却期限について

4月14日(水)は春期長期貸出の返却期限日です。期限内の返却をお願いします。返却期限後に返却する場合は、入館ゲートの外から職員に声をかけてください。返却ポストへの返却は、閉館している場合のみにしてください。

図書館ツアーのお知らせ

図書館では新入生の方を対象にした必修科目

「スタディスキルズ」で、実際に館内を案内しながら図書館の利用の仕方や、資料の探し方をご説明します。これからの4年間、授業や課題をクリアするために図書館は絶対に必要になってきます。新入生のみなさんは必ず出席してください。

日時：4月10日(土) (1限目~3限目)

* 学生証が必要です。

開館スケジュール

□ : 9:00~19:00
■ : 9:00~17:00
■ : 15:00~19:00
■ : 閉館日

※右のスケジュールは変更する場合があります。

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

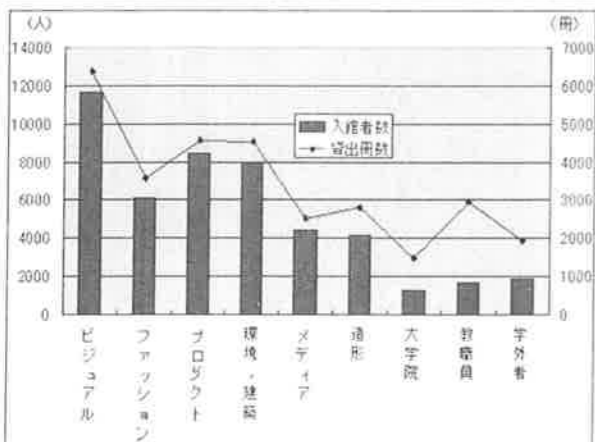
紀要『芸術工学2009』発行

本学教員の研究及び創作活動の報告書である神戸芸術工科大学紀要『芸術工学2009』(Web版)を、3月1日(月)に発行しました。

<http://kiyou.kobe-du.ac.jp/>

大学HP、図書館HPのトップ画面からもご覧になれます。要旨をまとめたパンフレットも刊行し、図書館カウンターにございますので、ご自由にお取りください。

2009年度(09年4月～10年2月)利用者統計発表!



09年度

*図書

1. Projects review (シリーズ) <525.1/PRO/**>
2. Kimono姫 (シリーズ) <593.1/KIM/**>
3. マーカー・スケッチ・ザ・インブック
アレクサンダー・オット/著 <501.8/OTT>
4. ひぐらしのなく頃に (シリーズ)
竜騎士/著 <913.6/RUY/**>
4. Rhinoceros オフィシャルトレーニングブック
中島淳雄/他著 <501.8/RHI>

*AV

1. 崖の上のポニョ <A778.77/GAK/1,2>
2. パコと魔法の絵本 <A778.21/PAK/1>
2. ベッドタイム・ストーリー <A778.253/BED>
2. 秒速5センチメートル <A778.77/BYO/1>
5. ウォーリー <A778.253/WOO/1>



長期貸出の返却期限日は4月14日(水)です!

遅れないように返却してください。

4日以上延滞すると、延滞した日数分資料の貸出ができなくなります。ご注意ください。

2009年度リクエスト結果報告

昨年度も皆さんからたくさんの購入リクエストをいただきました。ありがとうございました。諸事情により、リクエストにお応え出来なかったものもありますが、以下の冊数・点数を購入しました。

○図書・・・239冊

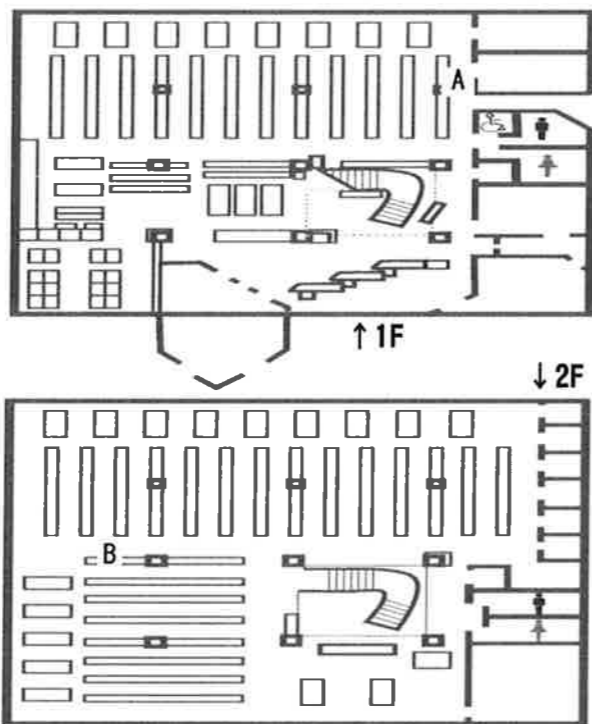
○AV資料・・・36点(※タイトル数ではありません)
今年度も皆さんからのリクエストをお待ちしております。

図書・AV資料を移動しました!

☆図書

1階に配架していたスポーツ・体育関係の図書(分類番号780～789)は2階へ移動しました。

【下図AからBへ移動】



☆AV資料

LD・ビデオテープについては全て閉架に移動しました。視聴をご希望の方はカウンターまでお申し出ください。



図書館からのオススメ

新着図書より

まんが表現学科

『マンガ進化論:コンテンツビジネスはマンガから生まれる!』 中野晴行/著 <726.1/NAK>
マンガやアニメの世界で今、どんなことが起きているのか、そこにどんな意味が隠されているのか、将来はどうなるのか、といったテーマを取り上げ、複雑化した「マンガ産業」のしくみを体系的に解説した1冊。

映像表現学科

『シネマティーニ:銀幕のなかの洋酒たち』 武部好伸/著 <778.04/TAK>
数々の名作映画の中で重要な小道具となった洋酒を、映画のシーンと共に紹介した、映画とお酒をこよなく愛する大人のための本。お酒にまつわるエピソード満載。

クラフト・美術学科

『アンティークと20世紀ジュエリー』 戸井田正巳/著 <755.3/TOI>
銀座のアンティーク・ショップのオーナーが綴った誰もが認めるアンティーク・ジュエリーの定番書。ジュエリーについての本格的な参考書の少ない中、1992年初版以来のロングセラーが新訂4版でさらに充実しました。

ビジュアルデザイン学科

『ラクガキ・マスター:描くことが楽しくなる絵のキホン』 寄藤文平/著 <725/YOR>
イラストレーター、アートディレクターとして、第一線で活躍する寄藤文平さんが、自分の描きたいものを、どのように見て、どのように描けば、思うままに気持ちよく描けるのかを、線1本の引き方から、分かりやすく解説した1冊です。

環境・建築デザイン学科

『住まいの解剖図鑑:心地よい住宅を設計する仕組み』 増田奏/著 <527.1/MAS>
住宅設計の現場には、家づくりの先人たちが積み重ねてきた知恵や工夫、心憎いまでの「ふつう」があります。それらのエッセンスを、550点超のイラストと洒落な文章で分解・抽出した“住宅版・解体新書”です。

ファッションデザイン学科

『ファッションコーディネートの世界:スタイリスト、コーディネーターのための基礎知識とテクニック』 林泉/著 <593.3/HAY>
ますます個性化、多様化、専門化するファッション界の中で求められるスタイリストやコーディネーター像を示し、そのために必要な知識・技術を、総合的・具体的に説明した1冊。

プロダクトデザイン学科

『モノづくりの仕組みがわかる事典』 電子機器・工業製品編』 デュマデジタル/著 <500/DUM>
日本人の知恵から生まれた技、効率化したモノづくりの仕組み、緻密で丁寧な作業、繊細なひと手間など世界に誇る日本の最先端技術を写真と図解で詳細に解説。モノづくりの工程が魅せる素晴らしい世界が堪能できる1冊です。

The Gallery of KDU Library

貴重書展

*** <BAUHAUS展> ***

期間: 4月1日(木)～5月15日(土)

本学が所蔵している「BAUHAUS (バウハウス)」関係の貴重書を展示します。バウハウスは、1919年ドイツのヴァイマールに設立され、ナチスによって1933年に閉鎖されるまで14年間活動した造形芸術の学校です。初代校長ヴァルター・グロピウスのもと、芸術と技術の統一を目指して、ヴァシリー・カンディンスキー、ラースロー・モホリ＝ナギ、ミース・ファン・デル・ローエなどが教鞭をとりました。家具、照明器具、金属器、陶器、織物、舞台、写真、グラフィックデザイン、建築などの幅広い分野で活動し、その後の各国の近代デザイン、建築、造形教育に多大な影響を与えたBAUHAUSの貴重書をどうぞご覧ください。

一般図書の展示

4月 「資格をとってみよう!」
5月 「これからの1年間のために一シラバスで紹介されている図書」

AV資料の展示

4月 「動物が主人公」
5月 「2009年キネマ旬報日本映画ベスト・テン」